



子どもの森づくり通信

(発行: NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

「子どもの森づくり運動」
フラグシップ園会報
(2013年11月号)

〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-10-4 tel:03-5711-0362 fax:03-5711-2264
http://www.kodomonono-mori.net mailto:info@kodomonono-mori.net

「子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



秋も深まり、ポットで育てている苗木も紅葉し始めました。
遅くなりましたが、子森通信11月号をお届けします。

(目次)

1. JP子どもの森づくり運動活動レポート
 2. 「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート
 3. 事務局からのお知らせ
- どんぐり博士の育苗講座 2013～基本編⑩～

■「子どもの森づくり運動」とは

今子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかし、子どもたち(特に幼少期の)は、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「子どもの森づくり運動」は、全国の保育園・幼稚園を拠点に一貫した森づくり活動を通じて、幼児期の子どもたちに「生きる力」と「健全な環境意識」を育むための自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」とは

特別ご協賛企業「日本郵政グループ」様との協働で、運動を全国に普及促進するフラグシップ活動を「JP子どもの森づくり運動」、フラグシップ活動実施園を「JP園」として活動を展開、2010年7月、フラグシップ園全国ネットワークが構築されました。

■「子どもの森づくり運動」運営体制

・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・後援/協力 : (社)全国私立保育園連盟

(順不同) (社)国土緑化推進機構

全国森林インストラクター会

NPO法人MORIMORI ネットワーク

(株)実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部

(社)大谷保育協会

NPO法人C・C・C 富良野自然塾

NPO法人自然体験活動推進協議会

(社)日本オート・キャンプ協会

保育環境研究所ギビングツリー



1. JP子どもの森づくり運動活動レポート

■大分県「桃園保育園」どんぐり拾い活動

- ・日時: 2013年10月21日(月) 9:30~11:45
- ・会場: 桃園第二公園
- ・インストラクター: 子森ネット中村
- ・日本郵政グループ参加者: 大分千才郵便局 永徳美智枝局長
- ・活動内容: 公園でのどんぐりひろい⇒園庭にてどんぐり選別~プランター土入れ~植え付け⇒後片付け



公園でのどんぐり拾い



大分千才郵便局 永徳局長さんのごあいさつ



どんぐりを選別して、プランターに植えました。



記念撮影

■新潟県「竹野町保育園」どんぐりの植え付けと植え替え活動

- ・日時: 2013年10月22日(火) 2013年10月23日(水)
- ・場所: 園内、及び園庭
- ・活動内容: ①10月22日: 今年拾ったどんぐりの植え付け ②10月23日: 苗木の植え替え



今年拾ったどんぐりを植え付けました。



大きくなった苗木をプランターからポットへ植え替えました。芋ほりの日に植樹します。



2. 「子どもの森づくり運動」東北復興グリーンウェイ活動レポート

フラッグシップ(JP)園の活動レポートです。詳細はホームページをご覧ください。

■ 神奈川県「瀏野辺保育園」東北復興グリーンウェイ苗木のおひろめ会

・日時: 2013年8月31日(土) ・会場: 園隣接公園

当日は、園恒例の夏祭り「ふるさとまつり」が開催され、園長先生はじめ保育士さんたちも浴衣姿です。

おひろめ会もお祭りの行事として行われ、みんなで育てた東北のどんぐりの苗木がお祭りチョウチンで飾られたやぐらの上で紹介されました。



夏まつり風景



浴衣姿の園長先生



■ 東京都「新宿せいが保育園」東北復興グリーンウェイ 苗木のおひろめ会

・日時: 2013年11月7日(木) ・会場: 園内ホール

・日本郵政グループ参加者: 落合郵便局 池田一浩 総務部長

おひろめ会では、どんぐりに扮した保育士さんがパネルシアターで、何故、みんなで東北のどんぐりを育てるのかなど「東北復興GW」についてお話ししてくれました。子どもたちは、大きなあれとそんな苗木に息をふきかけていました。



園長先生のごあいさつ



落合郵便局 池田さんのごあいさつ



3. 事務局からのお知らせ

今年も出展します！「エコプロダクツ2013」出展情報



・日 時:2013年12月12日(木)13日(金)14日(土)
10:00~18:00(最終日は17:00まで)
・会 場:東京ビッグサイト(東1~6ホール)

「子どもの森づくり運動」では、今年もエコプロダクツ2013に出展します。

NPOコーナーへの出展と共に、特別ご協賛企業 日本郵政グループコーナーでの体験プログラムの開催「森から始まるエコライフ展」へのポスター出展等、今年も盛りだくさんです。是非、ご来場下さい。

1) 出展概要

①子どもの森づくり運動(ブースNO:NGO・NPOコーナー N-90)

「子どもの森づくり運動」「東北復興グリーンウェイブ」それぞれの一年間の活動をご紹介します。

②日本郵政グループ(ブースNO:東ホール 6-042)

「森の郵便局」をイメージしたブース内で、子森ネットインストラクター、及び神奈川県の子園「淵野辺保育園」の協力による再生紙はがきを使ったワークショップを行います。あわせて、同グループならではの企画として、郵便物の差出し及びその郵便物への期間限定小型記念日付印によるオリジナル消印サービスを行います。

③子どもの森づくり推進ネットワーク(ブースNO:森から始まるエコライフ展 F-43)

「子どもの森づくり運動」をはじめ、子森ネットとしての取組みを紹介します。

2) 来場事前登録のご案内

エコプロダクツ展の入場料は無料ですが入場手続きが必要です。混雑が予想されますので、来場事前登録をお奨めします。登録は、エコプロダクツ展公式ホームページから手続きできます。⇒ <http://eco-pro.com/eco2013/>

●どんぐり博士の育苗講座 2013～基本編⑪～

11月に入り東北では何度か氷点下までも冷え込みました。その冷え込みと前後の好天のおかげで、コナラの苗は鮮やかな赤色に色づきました(表紙写真)。現在は葉が落ちて一本の棒のようになり完全に冬の装いです。基本編として1月から復興グリーンウェイブの育苗にて合わせた記載をしてきました。今号では冬を迎える苗の管理について記します。

* どんぐり博士:河内和男(森林インストラクター)



○苗の紅葉についてもう少し続けます。コナラの紅葉は薄い橙色から茶色のイメージでしたが、どんぐりから育てる活動を行ってみて、コナラの苗や若木は、条件によってはカエデにも劣らぬ紅葉をする事が分かりました。「百聞は一見にしかず」ですね。

○さて冬の苗管理です。少し季節をもどした所から始めます。暑い盛りを過ぎ秋雨の時期ともなれば、水やりの気苦労から大分解放されます。それでも葉が緑の内は水を吸い上げて活動していますので、土が乾燥したらしっかり水をあげなければなりません。季節が進み、葉の緑色が抜け紅葉や茶色になったら、苗は冬の休眠(葉へ水を送るのをやめ活動を休止する)に入ったのだと理解してください。

○コナラは紅葉後すぐに葉を落とします。クヌギは茶色になった葉がいつまでも残っていますが枯れてはいません。正確なたとえでは無いのですが眠っているようなものです。そのため活動の水は必要なくなりますが、眠っている間に苗が乾燥(特に根)してミイラのようになってしまうと春に活動を再開できません。ですので、特に冬季に乾燥する太平洋側の地域では、土の中の水分が保たれるように時々水やりが必要です。

○雪の積もる地域では、積もる量や雪質により管理は変わります。詳しく述べる紙面と正確な知識が無いので、手間の少ないやり方として、苗に負担がかからないようにし、雪に埋めておく方法も有ることだけ紹介して終わりにします。